

2013年度 テーマ別グループ研究

最高学部3年生

テーマ別グループ研究は、後期課程（3・4年生）の中心となるカリキュラムで、「世界と日本の文化」、「環境と経済・社会」、「ライフスタイル」、「人間形成と教育」、「自然の理解と創造」、「数理モデルとインターフェイス」の、6グループからなっています。

その特徴は、学問領域を超えた幅広い視野から研究を進め、グループで研究を行い、生活と研究の融合を目指すところにあります。お互いの個人研究を重ねあつて、共通点を見出し、点から面へと広げ、新たな視点や発展を生み出すというスタイルを取ります。

この報告会は3年生が行いますが、今回は時期を11月とし、2グループごとの公開合同ゼミとして行うことで、お互いの意見交換を目指すことにしました。

1日目：2013年11月26日（火）午後5時から7時30分

〔自然の理解と創造〕

- | | |
|--|--------|
| 1 海山植林地における水力発電機設置の模索 | 小沢 悠 |
| 2 飛騨乗鞍山麓自然についての一考察－飛騨乗鞍及び、東久留米の自然観察から－ | 篠塚 留美子 |
| 3 東久留米地域の小麦粉の特性調査－さらなる利用法の提案に向けて－ | 妹尾 有希子 |
| 4 粉塵爆発の発生条件と安定した爆発 | 武田 恵暉 |
| 5 食用ゲルの利用について－ゼラチン・寒天・蒟蒻の比較－ | 早川 真里 |
| 6 色を染める－植物の色 科学の色－ | 山本 千尋 |
| 7 セルロースの分解によるグルコース生成 | 吉田 海 |

〔数理モデルとインターフェイス〕

- | | |
|-------------------------|--------|
| 8 書かれた文字の統計解析 | 恩田 将樹 |
| 9 マルコフ連鎖を用いたサッカーの解析 | 鈴木 仰 |
| 10 ボロノイ図を用いたサッカーゲームの解析 | 宮加谷 直哉 |
| 11 椅子の強度耐久試験機制作に向けて | 小林 充 |
| 12 プロジェクションマッピングによる表現方法 | 岡田 真実 |
| 13 目に見える二次元と三次元の世界 | 小池 真秀 |

2日目：2013年11月28日（木）午後5時から7時30分

〔環境と経済・社会〕

- | | |
|----------------------------|-------|
| 14 環境・経済・社会の視点からみたコットン・農産物 | 会田 七菜 |
|----------------------------|-------|

〔ライフスタイル〕

- | | |
|----------------------------------|-------|
| 15 ライトの建築思想に沿った学部棟の案内図の在り方について検討 | 加藤 玲 |
| 16 社会に於けるこれからの工芸の在り方 | 田中 匠 |
| 17 女性の社会進出と、「食」についての考察 | 平山 れな |
| 18 食の在り方と人々の意識 | 井田 真平 |
| 19 最高学部の昼食の彩りから「色」を見る | 山内 早紀 |
| 20 プロサッカーに於けるマーケティング | 橋本 光永 |

3日目：2013年11月30日（土）午後1時40分から3時

〔人間形成と教育〕

- 21 乳幼児が過しやすい地域密着型の広場の考察－しなのめ寮 こっこ広場を事例として－
内田 翔大 荻野 彰吾 木村 瞭 久保田 悠 高柳 慶子 マーレー 志雄

〔世界と日本の文化〕

- 22 極限状態の置かれた兵士の心理とは－レイテ決戦からみる－ 小沼 李子
23 『ふたりのイーダ』作品論－戦争によって取り残された人々－ 藤崎 文音
24 2つの『夜』－ユダヤ人を生きるとは－E.ヴィーゼルとV.フランクルの比較作家論
二井 彬緒